

稲門フィラテリー切手教室

貝の切手と郵便印

2015/6/6 福元

貝切手には、貝類を主題として描いた純貝切手と貝の図案を印面の一部に描いた準貝切手がある。

純貝切手



イモガイ科 (ウミノサカエイモガイ)
Conus gloriamaris

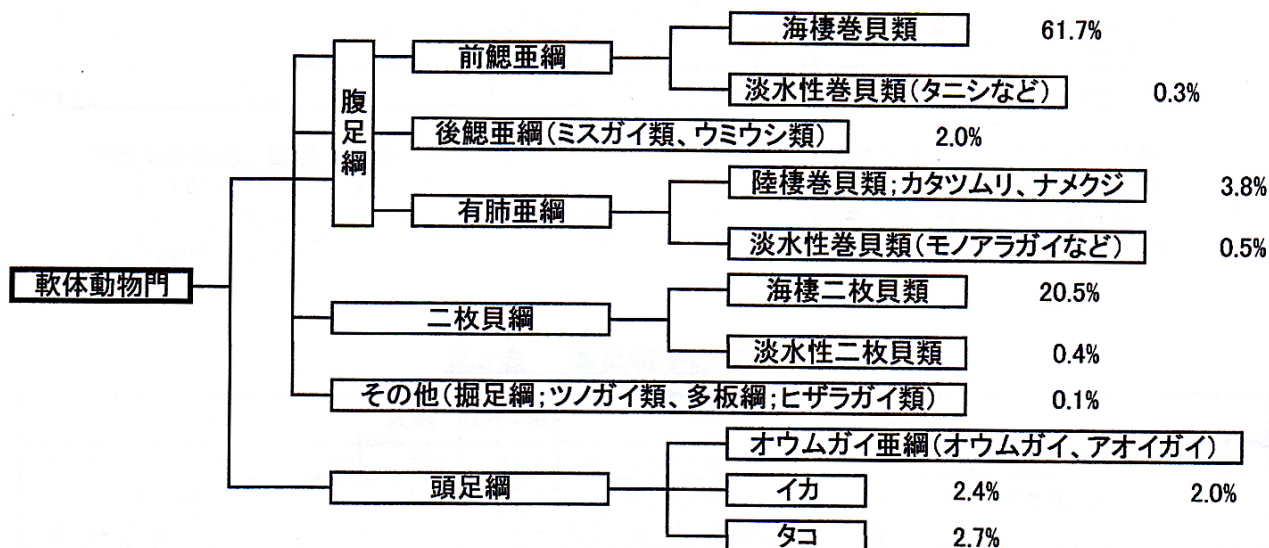
準貝切手



巡礼にジェームズ・ホタテガイ
(主題=宗教)

所蔵する貝切手中に描かれた貝類を、巻貝類および二枚貝類と軟体動物中もっとも進化したグループである頭足類などに分類し、さらに細分化して種類別(原則として科別)に分類した。結果を第1表、第2表にまとめた。

軟体動物の分類



第1表 大分類別枚数集計表

種類	純貝切手		準貝切手		合計	
	枚数	比率(%)	枚数	比率(%)	枚数	比率(%)
前鰓亜綱 (海棲巻貝類)	1,210	68.6	1,006	55.1	2,216	61.7
(タニシなどの淡水性巻貝類)	5	0.3	6	0.3	11	0.3
後鰓亜綱 (ミスガイ、ウミウシなど)	68	3.9	2	0.1	70	2.0
有肺亜綱 (カタツムリ、ナメクジ)	99	5.6	39	2.1	138	3.8
(モノアラガイなどの淡水性巻貝類)	6	0.3	12	0.7	18	0.5
多板綱 (ヒザラガイ類)	1	0.1	1	0.1	2	0.1
二枚貝綱 (海棲二枚貝類)	207	11.7	528	28.9	735	20.5
(イシガイなどの淡水性二枚貝類)	10	0.6	4	0.2	14	0.4
頭足綱 (アオイガイ、オウムガイ)	37	2.1	34	1.9	71	2.0
(いか、たこ)	70	4.0	112	6.1	182	5.1
化石	50	2.8	25	1.4	75	2.1
博物学者	0	0.0	57	3.1	57	1.6
合計	1,763	100.0	1,826	100.0	3,589	100.0

第1表に示すように、大分類に基づく種類別枚数では、海棲巻貝類が貝切手の60%以上を占め、次いで二枚貝類が約20%である。

第2表 種類別枚数

種類	純貝切手		準貝切手		合計	
	枚数	比率(%)	枚数	比率(%)	枚数	比率(%)
イタヤガイ科	44	2.5	292	16.0	336	9.4
ソデボラ科	148	8.4	166	9.1	314	8.7
オニコブシガイ科	13	0.7	246	13.5	259	7.2
タカラガイ科	148	8.4	98	5.4	246	6.9
イモガイ科	158	9.0	14	0.8	172	4.8
フジツガイ科	79	4.5	68	3.7	147	4.1
アクキガイ科	120	6.8	18	1.0	138	3.8
陸棲巻貝類(カタツムリ、ナメクジ)	99	5.6	39	2.1	138	3.8
たこ	36	2.0	62	3.4	98	2.7
いか	34	1.9	50	2.7	84	2.3
トウカムリガイ科	72	4.1	12	0.7	84	2.3
ウグイスガイ科	5	0.3	72	3.9	77	2.1
リュウテンサザエ科	39	2.2	25	1.4	64	1.8
オウムガイ	31	1.8	23	1.3	54	1.5
その他78種類	737	41.8	641	35.1	1,378	38.4
合計	1,763	100.0	1,826	100.0	3,589	100.0

種類別枚数は、貝切手全体でみると第2表に示す順位になるが、純貝切手ではイモガイ科が最も多く、次いでソデボラ科、タカラガイ科、アクキガイ科の順になる。この傾向は、貝類の収集家の好みとよく一致している。準貝切手では紋章、絵画、宗教切手などに頻繁に描かれるイタヤガイ類、インド土侯国のシャンクガイ(オニコブシガイ科)、西インド諸島の国々のピンクガイ(ソデボラ科)が目立って多い。

第3表 準貝切手の主題別

主題	枚数	比率(%)	備考
肖像	204	11.2	エリザベスⅡにピンクガイ(バハマ)、マハラジャにシャンクガイ(インド)等
魚と水棲生物	172	9.4	サンゴ礁、ラグーン、マングローブ林の生物群、淡水性生物を含む
風俗・習慣	111	6.1	民族衣装、生活慣習にタカラガイ等
絵画	92	5.0	洋画、浮世絵、額縁にイタヤガイ等
紋章	90	4.9	国章、州章、市章、会社章、家紋にイタヤガイ、シャンクガイ等
民芸品	62	3.4	仮面、頭飾り、首飾り、腕飾り、織物、土器等にタカラガイ等
美術工芸品	62	3.4	金銀細工、螺鈿細工、ノーティラスカップ、カメオ、彫刻、噴水
博物学者	57	3.1	リネ、ピュフォン、キュビエ、ソランダー、デュルピル、クオイ、昭和天皇等
宗教	54	3.0	教会、巡礼者にホタテガイ(スペイン)、仏像にシャンクガイ(ネパール)等
女神ブリタニアの馬車	49	2.7	海馬が曳く馬車にイタヤガイ(バルバドス)
真珠	47	2.6	真珠養殖、真珠採り、真珠の工芸品を含む
風景	46	2.5	海岸風景等
先史時代の生物	45	2.5	恐竜、魚竜、化石(アンモナイト、イタヤガイ等)
クリスマス、新年	44	2.4	クリスマス風景、クリスマスツリー、飾り、真珠貝彫刻
その他27主題	691	37.8	動物(鳥類、哺乳類、爬虫類)、船、切手の切手、ディズニー、甲殻類等
合計	1,826	100.0	

第3表に示すように肖像、魚と水棲生物、風俗・習慣、絵画、紋章を主題とする切手の一部に貝類が描かれている場合が多い。描かれる貝類としては、備考に示したようにシャンクガイ(オニコブシガイ科)、イタヤガイ類、ピンクガイ(ソデボラ科)、タカラガイ類が多い。

第4表 貝の郵便印種類別

主題		枚数	比率(%)	備考
局名	郵便局	89	10.3	貝類総称(Shell、Coquille)、巻貝類(Babylon)、二枚貝類(Peal)、頭足類(Calmar)
	艦内郵便局	14	1.6	巻貝類(Cone、Triton)、頭足類(Argonaut、Nautilus)
種類別	貝類総称	22	2.6	貝類(Shells、Coquillages、Conchas)、軟体動物(Mollusques)
	巻貝類	196	22.7	海棲巻貝類、ウミウシ類、陸棲巻貝類
	二枚貝類	170	19.7	イガイ類、真珠貝、イタヤガイ類、カキ、ハマグリ、ザルガイ、シジミ等
	種類不明	30	3.5	貝の断面、ヤドカリ、同定不明種
	複数種	16	1.9	複数種の貝
	頭足類	116	13.5	アオイガイ、オウムガイ、イカ、タコ、アンモナイト化石
社会・芸術	漁業・養殖業	82	9.5	漁業、養殖業(カキ、イタヤガイ、真珠、エスカルゴ)、タコ壺、海女
	生活遺構	10	1.2	貝塚
	宗教	28	3.2	キリスト教(ジェームズ・ホタテガイ)、ヒンドウ教(シャンクガイ)
	美術・工芸品	19	2.2	絵画、真珠工芸品、螺鈿細工、建造物、楽器、装飾品
	紋章	70	8.1	国章、市章、団体章、商標
合計		862	100.0	

付帯DVD資料内容

- ①「世界の貝切手」(スタンプショウ・トピカル切手展2005銀賞 グランプリ)
- ②「切手の貝類図鑑(巻貝編)」(スタンプショウ・トピカル切手展2006金銀賞グランプリ)
- ③「準貝切手」(スタンプショウ・トピカル切手展2009金銀賞グランプリ)
- ④「貝の郵便印」(スタンプショウ・トピカル切手展2013金銀賞)
- ⑤「ギリシア神話の神々と英雄たち」(スタンプショウ・トピカル切手展2008金賞)
- ⑥「オリュポスの神々」(全日本切手展2010銀賞)
- ⑦「ギリシア神話の英雄たち」(80ページに増やして2016年出品予定)
- ⑧「旧約聖書物語」(JAPEX2010銀賞)
- ⑨「ウミウシ切手」(習志野サークル切手展2009)

DVD操作方法

DVDをパソコンに挿入し、現われるムービーフォトメニューの「ファイル」をクリックすると「切手展作品」のファイルが現われます。ダブルクリックすると9個の切手作品のファイル出てきます。見たい作品をダブルクリックすると多数のイメージが出てきます。

一番目のイメージをダブルクリックするとフォトビューアーの画面に変わります。この画面になると、マウスの操作で拡大が可能になります。

画面下部の→|をクリックすると次の画面へ移り、|←をクリックすると前の画面に戻ります。

画面下部中央の□(スライドショウの再生)をクリックすると自動再生の画面となり、約4秒間隔で次の画面に自動変化します。自動再生を中止したいときには、キーボードのEscを押すとフォトビューアーの画面に戻ります。

切手の貝類図鑑

(巻貝編)

貝類の属する軟体動物が地球上に現れたのは、およそ6億年前といわれるが、現在では7～8万種と見られ、節足動物、線形動物について3番目に多い動物群となっている。これらには、海棲や陸棲の巻貝類、二枚貝類、頭足類などが含まれる。これらの半数以上が世界の海洋に棲む。

貝類は、軟体動物の分類に基づき、次のように分類できる。



世界最初の純貝切手



クック島の巻貝切手



ジャマイカの陸棲貝類

この作品は、貝切手を腹足綱(巻貝類)の分類にしたがって、海棲の巻貝類やウミウシ類、陸棲の巻貝類に大別し、さらに細分して科別に分類した。

本作品では、貝類を産地別にも分類している。多くの貝類は、一部の浮遊生活を送るものを除き底棲性のものである。飛べず、泳げず、走れずと運動能力の低い貝類の地理的分布範囲は限られ、地域毎に貝類に特徴があることが多い。また、水域が連続しているインド洋と太平洋では共通種が多く、一方、南米とアフリカの南端でしかこれらの大洋と水域が繋がらない大西洋の貝類は殆どが固有種である。

展示順序は、原則として、貝類図鑑で一般的にみられる順序とした。

貝切手には、同定の誤り、あるいは学名のスペルのミスなど、いわゆる誤刷がしばしば認められる。また、右巻きの貝を左巻きに描き誤るエラー(裏焼きエラー)もみられる。本作品では、これらのエラーも付記している。

1. 腹足綱 前鰓亜綱

1.2 新生腹足目

(海棲巻貝類)

ソデボラ科 (STROMBIDAE)

大西洋産



ソデボラ



ソデボラ
(フロリダ～ブラジル)



ソデボラ



ピンクガイ



ピンクガイ
(バミューダ～西インド諸島)



ピンクガイ



アンボラソデガイ
(西アフリカ)



ダイオウソデガイ
(ブラジル)



タカノハソデガイ
(フロリダ～ブラジル)



ミルソデガイ
(バミューダ～ブラジル)



ルンバソデガイ
(バミューダ～ブラジル)

20

1. 腹足綱 前鰓亜綱

1.2 新生腹足目

(海棲巻貝類)

タカラガイ科 (CYPRAEIDAE)

約200の現生種があり、主としてインド洋・太平洋の暖海に棲息する。大部分は浅海の岩礁に棲むが深海のものもある。肉食性、雑食性または海綿食性である。殻は小型～中型の卵形を呈し、殻口は狭い。色彩、斑紋は多様で美しく光沢がある。タカラガイ(宝貝)は科全体の総称でタカラガイという種はない。古代中国など世界各地で貝貨として使われた。現在でも珍奇種は高価なものが多い。日本では作取物語にも登場する子安貝と呼ばれる。お座の際にこれを握っていると安産であるといわれ伝えられている。

インド洋・太平洋産



カノタカラガイ
(インド洋～太平洋)



タルタカラガイ
(インド洋～太平洋)



ハセジョウタカラガイ (学名誤り)
(インド洋～太平洋)



ウキタカラガイ (学名誤り)
(インド洋～太平洋)



ホシダカラガイ
(インド洋～太平洋)



スルミタカラガイ (学名誤り)
(紅海～アデン湾)



サフランタカラガイ
(紅海～ペルシア湾)



コウカイトカラガイ (学名誤り)
(紅海)



ジャノメタカラガイ
(インド洋～西太平洋)



ハラタカラガイ
(インド洋～太平洋)

25

1. 腹足綱 前鰓亜綱

1.2 新生腹足目

(海棲巻貝類)

アケギガイ科 (MURICIDAE)

アケギガイ亜科 (MURICINAE)

ホネガイの仲間でも多くの種をもつ大群である。熱帯・亜熱帯の潮間帯から浅海の岩礁や砂礫底に棲む。肉食性で他の貝に穴を開けて食べる。殻は大型で顕著な水管をもつ。殻表に顕著な棘や樹枝状、翼状の突起がある。代表種のアケギガイ(悪鬼貝)は、長い水管と棘のある奇妙な見かけから、妖怪、悪魔などの「悪鬼神」に見立てて名付けられた。

インド洋・太平洋産



サツマツブリボラ
(インド洋～太平洋)



オニホネガイ (学名誤り)
(インド洋～太平洋)



コガンゼキボラ (学名誤り)
(日本～中部太平洋)



ウスノロアケギガイ
(インド洋～太平洋)



ガンゼキボラ
(西太平洋)



インドセンジュガイ (学名誤り)
(スリランカ～西太平洋)



ケニアからタンザニア向け郵便カバー

テングガイ (インド洋～太平洋)

37

4. 腹足綱 有肺亜綱

(カタツムリ類)

4.1 柄眼目

コダママイマイ科 (XANTHONYCIDAE)

殻は小型～中型で、一般に球形または扁平を呈する。アメリカ大陸、カリブ海の島々に棲息する。キューバ東部の樹上に棲息するコダママイマイは色彩の変化にのみ、美しい。

キューバ産



コダママイマイ



ミスジコダママイマイの1種



コダママイマイ



コダママイマイ



Polymita sp.

イナズマコダママイマイ

Polymita p. fulminata

ヘリトコダママイマイ



アカヘリコダママイマイ
(学名誤り)

クロビコダママイマイ
(学名誤り)

78

腹足綱 後鰓亜綱 (ミスガイ類、ウミウシ類)

ウミウシ (SEA SLUG)

ウミウシやアメフラシの仲間。貝殻は退化して、内在するが欠いている。成体に貝殻がない仲間でも、幼生期には小さな巻貝(幼貝)をもつ。色彩や斑紋の華やかなものが多い。砂地や岩や海藻の上を這い回るもの、浮遊生活をするものなどがある。海藻、海綿、イソギンチャク、ゴカイなどを食べる。ウミウシ(海牛)の名は、2本の触角を角のように振りながら、海藻を食べる姿が牛に似ていることに由来する。アメフラシ(雨降り、雨虎)の名は、これを産めると雨が降ったり海が時化になるという伝承に由来する。



タテヒダイボウウミウシ



ネコジタウミウシの1種



ヒバサミノウミウシ



フジタウミウシの1種



フジタウミウシ



ウマベニミノウミウシ



ドーリスの1種



ヒオドシウミウシの1種



カレドニアミノウミウシ
(ヌメア水族館の生物)



ミカドウミウシの1種



クニエイ



ドーリスの1種



キベリクロスジウミウシ

18

4. 腹足綱 有肺亜綱

(カタツムリ類)

4.1 柄眼目

エスカルゴ科 (HELICIDAE)

食用カタツムリのエスカルゴとブチグリを含む仲間。世界中に多くの種が生息する。殻は球形でやや厚く、体層は大きく膨らみ褐色や白の色素が走る。

ヨーロッパ産



チャオビエスカルゴ
(イタリア～アジア)



アルプスヒラバマイマイの1種
(東ヨーロッパ)



エスカルゴ
(中部ヨーロッパ)



モリマイマイ
(西ヨーロッパ)



エスカルゴ
(中部ヨーロッパ)



ブチグリ
(西ヨーロッパ)



ニワノウシウマイマイ
(西ヨーロッパ、北アメリカ)



ブチグリ
(西ヨーロッパ)

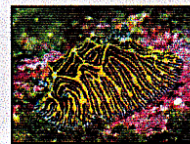
79

腹足綱 後鰓亜綱

6. 裸鰓目 ドーリス亜目

ドーリス科 (Dorididae)

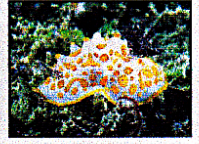
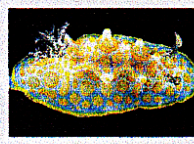
一般に体は楕円形で平たい。外套膜は楕円形で、その周囲は腹足から分離し、腹足を覆う。背面には小さい顆粒状～大小のコブ状の隆起や突起がある。体は柔らかいものとやや硬いものがあり、骨片を含む。触角はヒダを有し、収縮する。背面の肛門の周囲に花びら状の鰓を持つ。鰓は緒を持ち、収縮する。カイメン、ホヤ、コケムシ類を食べる。



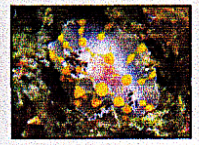
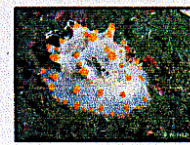
ハйнаップルウミウシ Halgerda willeyi



モザイクウミウシ Halgerda tessellata



ヒオドシウミウシ属の1種 Halgerda aurantiomaculata



コンバイトウウミウシ Halgerda carlesoni

16

頭足綱

オウムガイ科 (NAUTILIDAE)

かつて世界中に栄えた本科は、現在は南西太平洋に数種しか残っていない。殻は大型の螺旋状を呈し内部は多数の小室に分かれ、各室には気体が入っていて、これで浮力を保ち泳ぐ。百本近い触手をもつが戦艦はない。肉食性。酒杯(ノーティラス・カップ)や珊瑚細工の材料として珍重された。オウムガイ(鸚鵡貝)の名は、殻口に巻き込む部分が黒色で「オウムの嘴」に似ることによる。



オウムガイ (学名誤り)



オウムガイ



オウムガイ (学名改正)



オオペンオウムガイ



オオペンオウムガイ



パラオウムガイ



オオペンオウムガイ (ヌメア水族館広報)

頭足綱

タコ (OCTOPUS)

イカと同様に、最も進化した軟体動物の1つで、系統的には巻貝類に近い。両種海域から熱帯までの岩礁やサンゴ礁から外洋海域、さらに深海底まで棲息する。8本の足(腕)をもち、ジェット推進による遊泳力をもつ。体の内部には、イカのような甲や軟甲は見られない。タコ類の多くは、カニ類やエビ類、貝類を餌としている。ヒョウモンダコの仲間には強い咬毒を有する。タコ(蛸、章魚)の名は、タはテ(手)から転じ、コはたくさんという意味で、「手が多い」ことから由来している。また、足が多いことから「タコ(多股)」になったという説もある。



マダコ



マダコ



カンテンダコヤの1種



サメハダテナガダコ (弱い咬毒)



コマルモンダコ (致死性咬毒)



Octopus bimaculatus



エンドウダコ



オオマルモンダコ (致死性咬毒)



サンゴ礁の生物 (タコ)



南洋生物 (タコ)

二枚貝綱

イタヤガイ科 (PECTINIDAE)

イタヤガイやホタテガイの仲間では食用となる。極地方～熱帯の主に浅海、一部半深海に分布し、種は多い。日本近海では北海のホタテガイ、西海のイタヤガイと分布が異なる。足糸で岩礁に付着するものと砂底で動き回るものがある。殻は小型～大型で、扇形または円形の主部と前後の耳状部からなる。一般に放射肋が発達し、色彩が美しく変化に富む。代表種イタヤガイ(板貝)の名は、放射肋が板蓋座の模様に見えることによる。ホタテガイ(帆立貝)は、一方の殻を帆のように立てて海上を泳ぐという俗説に由来する。



イタヤガイ



アザミエヨクガイ (学名誤り)



セキトリニシキガイ



ホタテガイ



コブナデシコガイ (学名誤り)



バタゴニアニシキガイ



ニュージーランドイタヤガイ



ジェームズホタテガイ



セイウイタヤガイ



ヨーロッパホタテガイ

二枚貝綱

マルスダレガイ科 (VENERIDAE)

ハマグリやアサリの仲間。二枚貝中最も種が多く、世界各地に分布する。主に潮間帯から浅海の砂底・砂礫底に棲息する。冷水域では食用となる種が多い。殻は小型～大型で、形の変化が著しく、彩色・色帯・斑紋の種類も豊富である。暖海種は色彩が美しい。代表種マルスダレガイ(丸扇貝)の名は、形が丸く、扇状の模様があることによる。ハマグリ(蛤)は、形が「栗」に似ていること、あるいは砂中の「小石(グリ)」に例えて呼んだとされる。アサリ(浅蜊)の名は、「求食貝(アサリガイ)」または「漁(あさる)」ことから転じた。



マボロシハマグリ



サンカクハマグリ



シナハマグリ



アソナガイ



カブトシコロガイ



サラサウスレガイ



ヨーロッパアサリ (学名誤り)



マオリカガミガイ



ヒレノスガイ (学名誤り)



ヨーロッパウスレガイ (学名誤り)



マルオミナシガイ

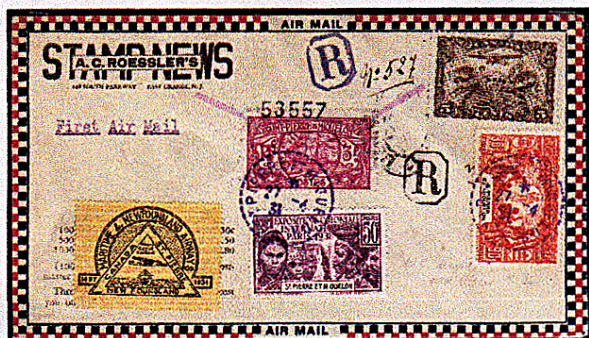
準貝切手 —貝類と人や生き物とのかかわり—

貝切手には、貝類を主題として写実的に描いた純貝切手と、貝の図案を印面の一部または背景に描いた準貝切手があります。

準貝切手は、王族などの肖像、魚などの水棲動物や風俗を主題とする切手に貝類の図案が描かれている場合が多く、次いで紋章、絵画、民芸品、宗教および美術工芸品を主題とする切手に多い。描かれる貝類としては、シヤングガイ(オニコブシガイ科)、イタヤガイ類、ピンクガイ(ソデボラ科)、タカラガイ類が多い。

この作品は、準貝切手を主題別に分類し、「貝類と人や生き物とのかかわり」をテーマとして、「暮らしの中の貝類」、「宗教と貝類」、「美術品と貝類」、「文学と貝類」、「紋章と貝類」、「肖像と貝類」および「貝類と生き物の仲間たち」にまとめてみました。

なお、本作品でいう貝類とは、貝類に属する軟体動物全般を示し、巻貝類および二枚貝類のほか最も進化したグループであるタコ、イカなどの頭足類を含みます。



サンビエール・ミクロン島から米国宛実運書用カバー(カナダ切手1枚付)
(消印:1931年)

帆船にイタヤガイ

1

1 暮らしの中の貝類

1.4 貨幣(1)

貨幣切手に古代の貝貨幣(主にタカラガイ類)やオセアニア地域の貝貨を描いたものがある。古代中国では最初の文明が発達した黄河流域は海から遠く離れていたため、美しいタカラガイは貴重であり、殷の時代(紀元前16～前11世紀)から貨幣として利用され、一部の地域では清代初頭(紀元17世紀)まで使用された。中国のほか、インドシナ、フィリピン、オセアニア、インド、ペルシア、エジプト、アフリカ諸国などでも貝貨が流通した。



貝貨と銅製貝貨



古代貨幣



貝貨



コインにタコ



中央銀行にタカラガイの貝貨



コインにキリガイダマシとイタヤガイ



マネーベルト



アームバンド状貝貨



マネーベルト

オセアニアの貝貨は、現在では一部の地域で結婚式や葬式などの支払いに儀礼的に使用される以外は、単なる装飾品が富の象徴となっている。

13

1 暮らしの中の貝類

1.3 民芸品(1)

民芸品の腕飾り、ネックレスなどの装飾品に貝類が使用されている。水入れなどの容器類や舟の飾り物に貝殻がみられる。また、織物の絵柄に貝が描かれているものや、染料として使われた貝紫の切手もある。タカラガイは人の目に似ているため、邪悪なものに對抗する護符として、魔術師や儀式のダンサーの仮面や衣装の切手に描かれる。



腕飾り



首飾り



陶製のカタツムリ



イモガイの1種と仮面



先史時代の石製石器



貝の箱



緑藻の動物にタカラガイ



シヤングガイの首飾り



王家の首飾りにタカラガイ



青銅のホラガイの水差し

10

1 暮らしの中の貝類

1.6 水産業(1)

1.6.1 漁業 ①

各国の水産物と共に貝類を描く切手がある。ピンクガイなどの貝の採取を描いたものや貝で作った釣針、ホンダカラガイを模倣品に使うオセアニア地域のタコ漁の切手もある。



ピンクガイ漁



ピンクガイ漁



アワビ(メキシコの輸出品)



クロアチの漁業にタコ



アメリカ観光キャンペーン



サンビエール・ミクロン島からアイスランド宛実運書用カバー(消印:1952年)

高産物にイタヤガイ

17

2 宗教と貝類

2.1 キリスト教(1)

2.1.1 ジェームズホタテガイ ①

キリストの12使徒の一人聖ヤコブは、英名を聖ジェームズという。彼はエルサレムで殉教したが、9世紀の初めにスペインでその遺体が発見され、スペイン北西部のコンポステラに埋葬されたといわれる。コンポステラは、エルサレム、ローマに次ぐ巡礼地となった。ジェームズホタテガイが巡礼者の徽章になっている。その理由は、貝殻が巡礼地まで到達した証拠になったという説が有力である。



コンポステラの地図とジェームズホタテガイ



キリスト像にジェームズホタテガイ



教会入り口とジェームズホタテガイ



教会とジェームズホタテガイ

スペインからドイツ宛郵便カバー (消印: 1937年)

33

5 紋章と貝類

5.1 紋章(1)

国家、州章、市章、会社章や家紋などの切手にイタヤガイやピンクガイが描かれる。また、インド土侯国のトラバンコールではオニコブシガイ科のシヤンクガイの国章切手が多数発行されている。



植民地の紋章にバーゲンツノマタガイ



サンチャゴ市章にイタヤガイ



リージェ大学学章にイタヤガイ



バーミューダ島の紋章にホラガイ



国章にシヤンクガイ



国章にホラガイ、マンボウガイなど



国章にピンクガイ



国章にピンクガイ



国章にフデガイ



国章にピンクガイ

51

3 美術品と貝類

3.1 絵画(1)

神話や聖書を主題とした絵画切手にイタヤガイやホラガイなどが描かれることが多い。静物画にはオウムガイのノーティスカップ、イタボキやカタツムリなど、仏画にはオニコブシガイ科のシヤンクガイが描かれる。

3.1.1 神話 ①



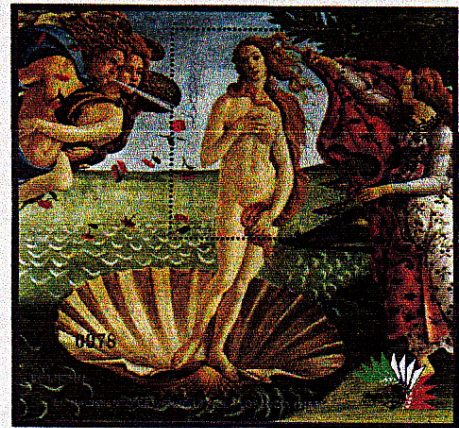
イタヤガイに立つヴィーナス
ブーローヌ画
【ヴィーナスの誕生】



海面にイタヤガイ
ティツィアーノ画
【驚かされるヴィーナス】



シヤンクガイの上に立つヴィーナス
メノカル画
【ヴィーナス・アナディオメナ】



イタヤガイに立つヴィーナス
ボッティチェリ画 【ヴィーナスの誕生】

38

7 貝類と生き物の仲間たち

7.2 甲殻類(3)

7.2.2 ヤドカリ ①

ヤドカリ類のほとんどが巻貝類を利用している。まれに二枚貝の一片を背負ったり、ツノガイや蛭石や海綿の穴に入る仲間もいる。ヤシガニやタラバガニは、貝殻を放棄したヤドカリの仲間である。全世界の浅海から熱帯までの潮間帯から深海まで棲息するが、陸上にまで分布を広げたオカヤドカリもいる。そのユーモラスな格好から人気があり、ペットショップでも売られている。ヤドカリ(宿借り)の名は、貝殻の中に住むことに由来する。



ホラガイにヤドカリ



ダイオウゲンゼキボラにヤドカリ科の1種



インゲンチャクを付けるヤドカリ



ヨーロッパゾノバイに
ホンヤドカリの1種



インゲンチャクを背負う
ケスジヤドカリ



スポンジガニ



サンゴヤドカリの1種



シタダミの1種にコモンヤドカリ



クチベニシヤンクガイにヤドカリ



貝類とオカヤドカリ

72

貝の郵便印

郵便印の中には、郵便局名が貝の学名や英名、仏名、西名などと同じものがあり、また記念印、風景印、広告印などの中には貝の図柄や貝に関する記述を含むものがある。本作品は、これらの郵便印を分類し、整理したものである。

本作品では、貝類の属する軟体動物の分類に基づき、海棲や陸棲の巻貝類および二枚貝類のほか最も進化したグループであるイカ・タコなどの頭足類も含めた。なお、形状が分かりにくい貝については、参考として相当する貝切手を添付した。



ニューヨーク・フランス領事からポスト・フランス非務官あての手紙。ハマグリ型の消印は1802-1804年間に使用され、本手紙は1803年10月18日付。赤インクの17(セント)は、200-250マイル間の郵送料。

< 展示プラン >

(リーフNo.)

第1章 貝の局名	2~16
1.1 郵便局	2~13
1.2 艦内郵便局	14~16
第2章 貝の種類別	17~64
2.1 貝類総称	17
2.2 巻貝類	18~32
2.3 二枚貝類	33~48
2.4 種類不明種	49~51
2.5 複数種	52~53
2.6 頭足類	54~64
第3章 社会・芸術と貝類	65~80
3.1 漁業・養殖業	65~67
3.2 宗教	68~70
3.3 美術品・工芸品	71~72
3.4 紋章	73~80

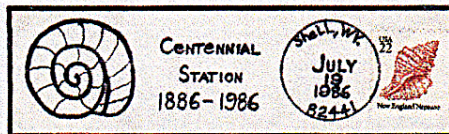
第1章 貝の局名

1.1 郵便局 (1)

郵便印の郵便局名が、貝類の名前と同じものや貝類を意味するものがある。

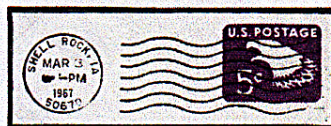
1.1.1 貝類総称 (1)

Shell (貝の英名)



Shell (貝)、ワイオミング州、アメリカ

Shell Rock (貝の岩)



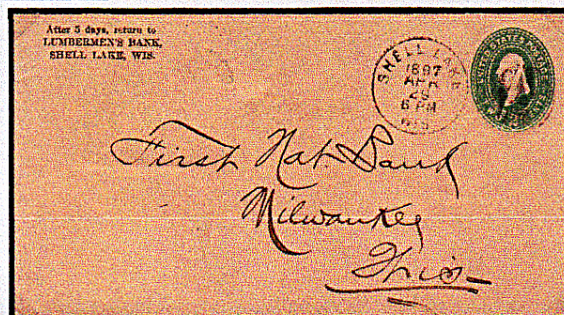
Shell Rock (貝の岩)、アイオワ州、アメリカ

Shellsburg (貝の町)



Shellsburg (貝の町)、アイオワ州、アメリカ

Shell Lake (貝の湖)



アメリカ国内実郵便 (消印: 1897年) Shell Lake (貝の湖)、ウィスコンシン州、アメリカ

第1章 貝の局名

1.2 艦内郵便局 (1)

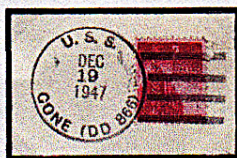
第二次世界大戦頃のアメリカ海軍艦船(United States Ship)、特に潜水艦の名称に巻貝や頭足類の名前が付けられたものがあり、艦内に設けられた郵便局で使用された郵便印にその名前が使われている。

1.2.1 巻貝類

Cone (イモガイの英名)



テンジクイモガイ, Admiral Cone



U. S. S. Cone 号 (イモガイ)、アメリカ海軍駆逐艦

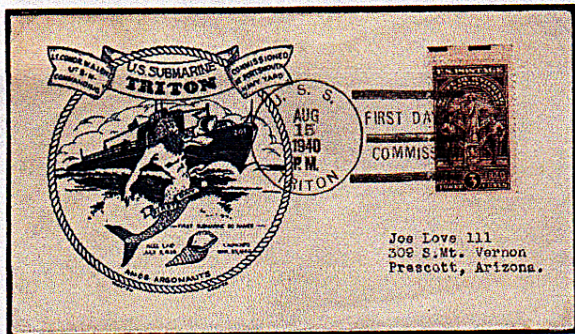
Triton (ホラガイの英名)



ホラガイ, Trumpet triton



セイヨウホラガイ, Atlantic trumpet triton



U. S. S. Triton 号 (ホラガイ)、初日カバー、アメリカ海軍潜水艦

第2章 貝の種類別

2.2 巻貝類 (1)

初日印、記念印、風景印などの郵便印に海棲巻貝類、ウミウシ類、陸棲巻貝類(カタツムリ)および淡水巻貝類などの巻貝類の図柄(印影)が見られる。

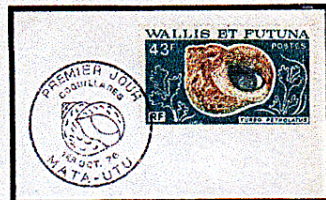
2.2.1 海棲巻貝類 (1)

オキナエビスガイ科



オキナエビスガイの一種、収集家会議記念

リュウテンサザエ科



リュウテンサザエ、初日印

ニシキウズガイ科



ニシキウズガイの一種、世界貝類展記念



ニシキウズガイの一種、初日印



ニシキウズガイの一種 (キザゴ)、初日印

第2章 貝の種類別

2.3 二枚貝類 (3) 2.3.2 真珠貝 (1)

アコヤガイ(阿古屋貝)は、真珠養殖に利用される「真珠母貝」の一つで、「真珠貝」ともいわれる。貝殻の内側に異物が混入すると異物に対し真珠層を巻くので、真珠が形成される。イクチョウガイやカラス貝などの淡水生の貝の中にも出る真珠は淡水真珠と呼ばれる。



真珠貝、ベルギー西海岸の町 Westende の真珠、町の広告



Perle de Tahiti (タヒチの真珠)
初日印



真珠貝、モース島の真珠広告



真珠貝
郵便博物館談話会記念



クロチウガイ、ふるさと切手発行記念、八重山



真珠採り、初日印

35

第2章 貝の種類別

2.6 頭足類 (5) 2.6.4 タコ (2)

記念印



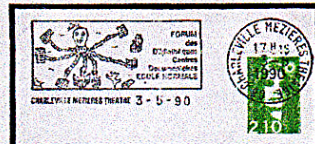
タコ、子供の博物館切手展記念



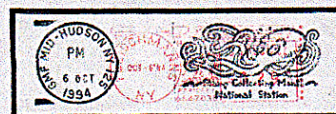
タコ、ジュニア切手展記念



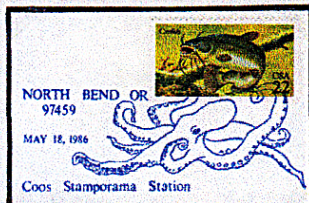
タコ、海洋生物展記念



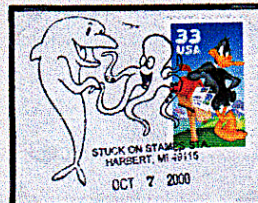
タコ、国立高等師範学校文書センター図書室討論会記念



タコ、切手収集月間記念



タコ、切手展記念



タコとクジラ、切手展記念

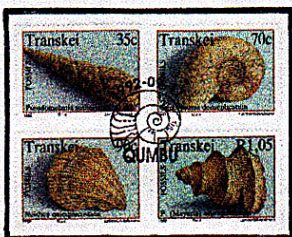
58

第2章 貝の種類別

2.6 頭足類 (6) 2.6.5 アンモナイト (1)

アンモナイトは、古生代から中生代末までのおよそ3億5,000万年の間、海洋に広く分布し繁栄した。平らな巻貝の形をした殻をもつ。殻の直径は、数センチから十数センチメートル程度のものが多いが、中には直径が2mに達するものもある。ヨーロッパ諸国では、化石・鉱物展やブースが開かれることが多く、それらの開催記念印にアンモナイトが図案として使われる。また、化石を産する地域の風景印にも図案として使われる。

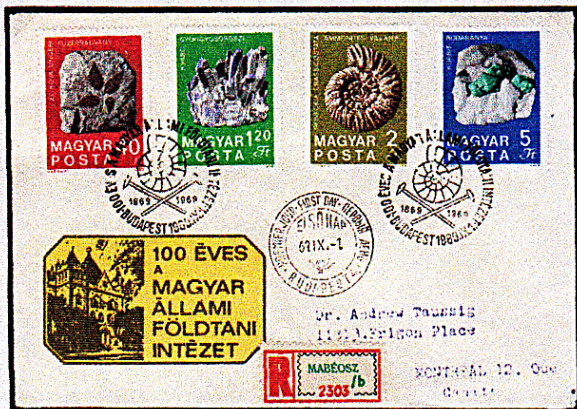
初日印 ①



アンモナイト、初日印



アンモナイト、初日印



アンモナイト、地質博物館100周年記念切手初日印

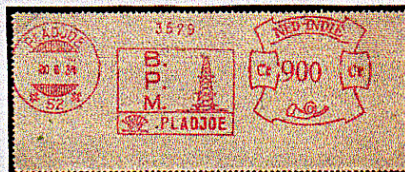
59

第3章 社会・芸術と貝類

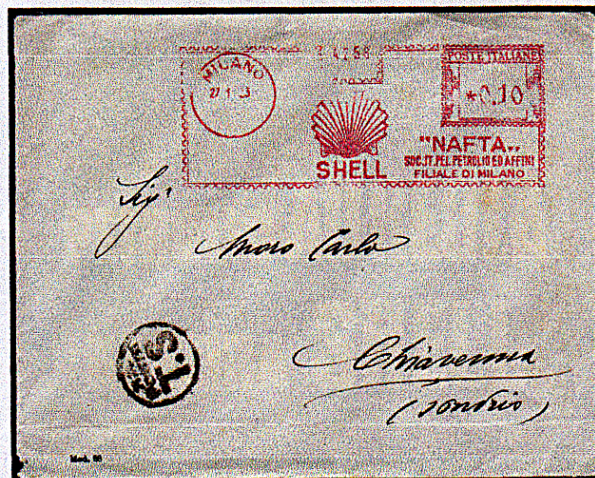
3.4 紋章 (6) 3.4.3 商標 (3)

二枚貝類 ①

ホタテガイの図案を描いたシェル石油の商標が有名である。オランダに本拠を置くシェル石油の社名は、創業者が貝殻や貝殻細工を販売して財を成したこと、出資者の家紋がジェームズ・ホタテガイであったことにちなむ。



メータースタンプにシェル石油の商標のホタテガイ



イタリア国内実通カバー (消印:1933年)

メータースタンプにシェル石油の商標のホタテガイ

78